

014

立地等にあわせた災害リスク情報を動画で配信

- ✓ スマホ等を介して動画で災害リスク情報を配信
- ✓ 住所や被災状況を踏まえた、“わがごと”の災害リスク情報を提供

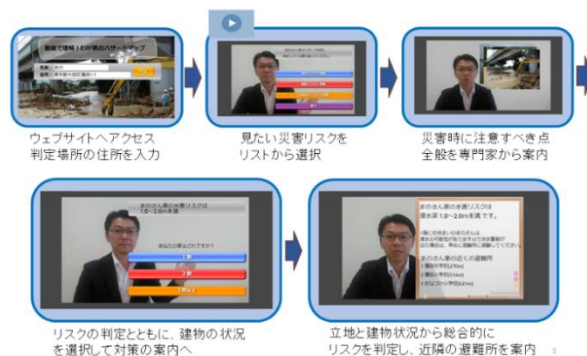
取組主体	従業員数	想定災害	実施地域
株式会社楽しいチリビジ	2名	水害等	東京都

株式会社楽しいチリビジは平成 29 年に、住所や被災状況にあわせた災害リスク情報を動画で提供するシステムを開発した。

1 取組の特徴（特色、はじめたきっかけ、狙い、工夫した点、苦労した点）

紙の情報を動画にすることで、より多くの人々にわかりやすく災害リスクを伝える

- 近年、水害や土砂災害、地震等に対するハザードマップが全国的に整備されてきた。一方、実際の災害時には、ハザードマップに記されたリスクが住民に認識されておらず、被害が拡大するという事態も数多く生じている。地理情報関連事業を行う株式会社楽しいチリビジでは、これまで紙媒体で提供されていたハザードマップ情報を対話型で個別化した動画としてスマートフォンアプリ等を通じて配信することで、より多くの人に、“わがごと”として災害リスクを伝える地図情報システムを平成 29 年に開発した。



リスク情報提供の流れ

立地や被災状況にあわせた災害リスク情報を提供するために

- 本システムでは、利用者が自分の住所を入力して参照したい災害リスクを選択すると、専門家による災害時の注意点等の解説動画が配信される。またリスクの判定結果や近隣の避難所等については、文字等で案内される。
- 地理情報システムの活用により、入力された住所に対応したハザードマップ情報を提供できることに加え、事前に把握ができない建物等の被災状況についてはシステム側から質問を行う形式としている。利用者からの回答を得ることで、総合的なリスクの判定や状況に適した解説動画の提供など、より被災現場の実情にあわせた情報を提供できるよう工夫されている。

2 取組の平時における利活用の状況

- 本システムを単体で使うことに加えて、観光客用スマートフォンアプリ等日常的な用途に用いられるシステムと組み合わせることで、災害時にもより一層活用される仕組みとなるよう、同社では開発等を進めている。

3 現状の課題・今後の展開等

- 同社では上述の“日常使い”型のアプリとの連動に加え、本システムの活用がより一層進むよう、多様なパートナーと連携した普及活動を行う方針である。

担当者の声



立地や被災状況にあわせた災害リスク情報をわかりやすく伝える

- 「対話型パーソナライズド動画」という新しい技術を活用して、立地によって異なる避難情報を各戸専用の動画で読み聞かせて災害リスクや避難情報を提供し、災害リスクを「わがごと」として意識付けを行う次世代型のハザードマップです。
- ハザードマップの内容を十分に読み解くことが難しい方でも、災害リスクを理解し、災害への正しい対応を促すことを目指します。

問合せ先

株式会社楽しいチリビジ 法人番号:5020001079309
TEL 080-4001-9656 FAX— E-Mail ask@chiri.biz